

2019年6月28日

JR九州高速船株式会社

～ お客さまの利便性向上及び船内キャッシュレス化に向けて～

衛星通信を利用した新サービスの導入について

JR九州高速船株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：水野 正幸）は、衛星通信に関する実証・実験を行ってまいりましたが、2019年7月より衛星通信を利用した船内 Wi-Fi サービスを正式に行うことにしました。

今までの船内 Wi-Fi は、日韓の携帯電話の電波が届かない海上では通信が途切れることがありましたが、これにより電波が届かない区域では衛星回線に自動的に切り替わり、よりシームレスな Wi-Fi サービスが（※）提供できることを期待しております。また、QR コード決済等も可能となり、今後順次導入していく予定です。

今回は、2隻（ビートル及びビートル二世）の導入となりますが、7月中に全隻に導入予定です。

※ 天候状況により、衛星の送受信が繋がりにくい場合があります。



■ 概要

（1）導入目的及び効果

- ① 既存 Wi-Fi サービスの改善によるお客さまの利便性向上
- ② 船内決済のキャッシュレス化の推進

（クレジットカード以外、QR コード・電子マネー等の多様な決済に対応可）

※ QR コード・電子マネー決済については、順次導入予定です。

（3）衛星通信サービス開始日

2019年7月1日（※ビートル三世については7月中旬以降サービス開始）

（4）これまでの経緯及び今後のスケジュール

- ・ 2018年11月 ビートルに衛星アンテナの取り付け（その後、決済テスト等の実証・実験）
- ・ 2019年6月 ビートル二世に衛星アンテナの取り付け
- ・ 2019年7月 ビートル三世に衛星アンテナの取り付け予定（ビートル全隻に取り付け完了）
- ・ 2020年7月 新型高速船 QUEEN BEETLE に衛星通信サービスの開始予定